

# 歴史と花

井伊直虎ゆかりの寺

りょう

たん

じ

# 龍潭寺

国指定名勝  
龍潭寺庭園



# 緑の古刹

## 庭園の説明

小堀遠州作龍潭寺庭園は、江戸時代初期に造られた池泉鑑賞式庭園である。

小堀遠州は滋賀・長浜の出身で、「遠州流」の茶道を興し、二条城二の丸庭園の作庭等をした当代一の文化人である。また、駿府城の作事奉行を勤め、同じ作事奉行を勤めた二十五代直孝とは親しく、その依頼により造られたといわれている。四季折々の変化に富み、多くの来観者が訪れている。昭和十一年に国の名勝記念物に指定された東海の名園である。



二十四代直政公 木像



県指定文化財 開山堂

## 寺宝

- 宗派 禅宗 臨濟宗妙心寺派
- 本尊 虚空蔵大菩薩
- 宗良親王・井伊家菩提寺

井伊氏の菩提寺龍潭寺は、その歴史と共に、貴重な文化財を残している。境内地一万余坪は、御朱印地九十六石の由緒を残し、そこに立つ堂塔六棟は、いずれも江戸時代の建造物として、県の有形文化財に指定されている。

また国指定重要文化財「宋版錦繡萬花谷（金沢文庫）県指定文化財金屏風「遊楽の図」さらには織田信長公遺品井伊家拝領の品を多く所蔵している。



県指定文化財 庫裏



県指定文化財 本堂

「年間行事」

- 1月15日 大般若祈禱
- 2月15日 ねはん会
- 3月春分の日 彼岸会
- 4月8日 花祭り
- 8月15日 孟蘭盆会
- 9月秋分の日 彼岸会
- 12月31日 除夜の鐘

- 名園と新緑・花まつり(春)
- 名園と紅葉まつり(秋)

※夜の庭園公開(春秋)  
※写経・坐禅(要予約)  
■詳細はHP参照又は、  
電話にてお尋ね下さい。

「花暦」

- 1月〜3月上旬 梅・つばき・さざんか
- 3月〜3月中旬 白蓮 木蓮
- 3月下旬〜4月中旬 桜・八重桜
- 4月上旬 ドウタン
- 4月〜4月下旬 ツツジ・藤
- 5月〜6月上旬 さつき
- 5月上旬〜9月中旬 スイレン
- 5月下旬〜6月 沙羅
- 6月上旬〜7月 あじさい
- 7月〜8月 百日紅(さるすべり)
- 7月中旬〜8月 ハス・のうぜんかずら
- 8月 やぶらん
- 9月下旬〜10月 きんもくせい・萩
- 10月中旬〜11月 秋明菊・つばぶき
- 11月中旬〜12月上旬 紅葉
- 12月上旬 千両・クロガネもち

当寺の歴史は古く、奈良時代行基菩薩開創と寺伝にある。龍潭寺のある井伊谷は、古く「井の国」と言われ「井の国の大王」が治めた土地である。

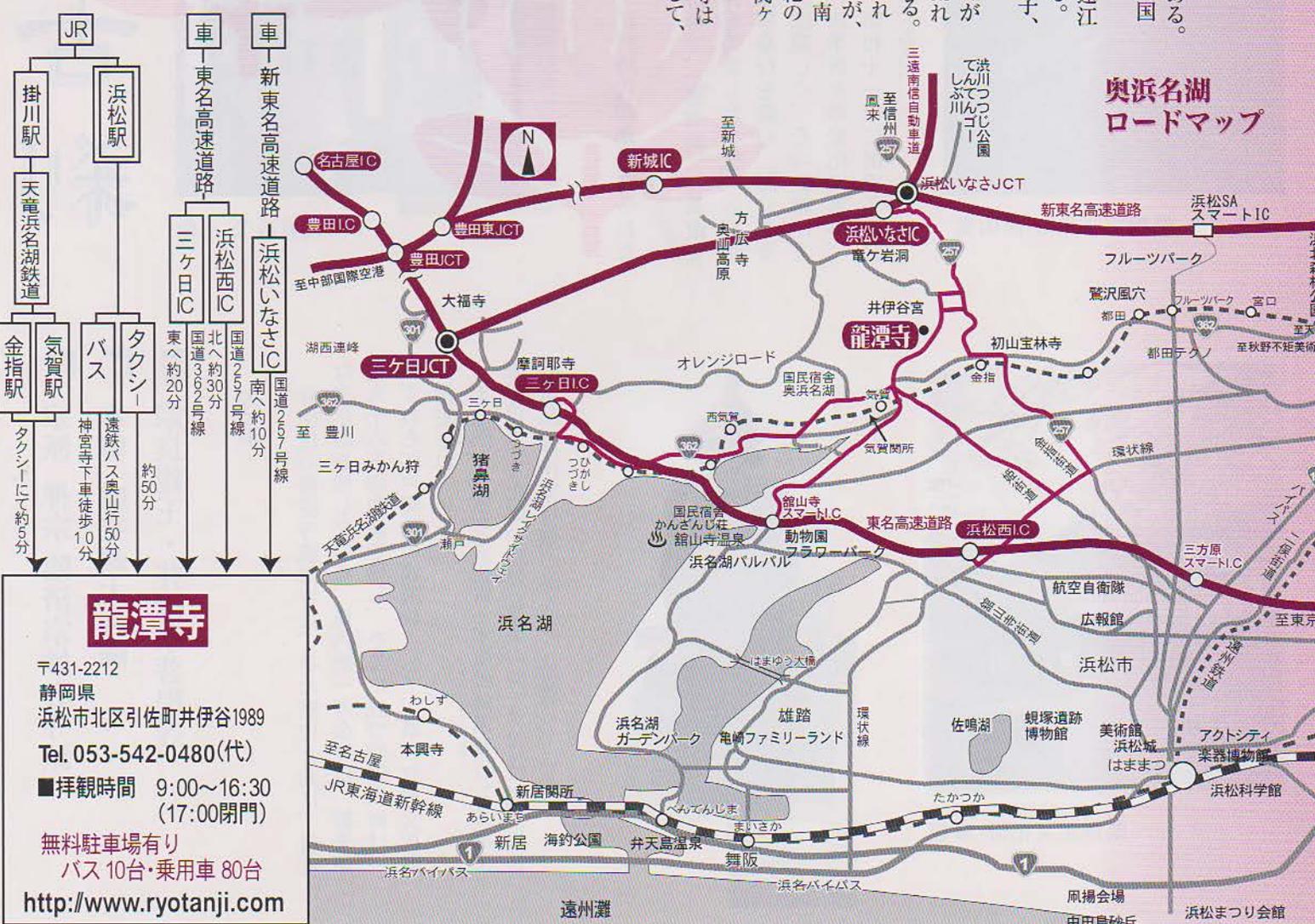
平安時代井伊氏の元祖井伊共保が生まれ、井伊氏は遠江の有力武士として、すでに保元物語にその名を連ねている。鎌倉時代、源頼朝に仕え、南北朝時代には後醍醐天皇皇子、宗良親王を井伊城に迎え北朝軍と戦った名門である。

室町時代二十代井伊直平に帰依された黙宗瑞淵禪師が新たに龍潭寺の開山となり、遠州地方に京都妙心寺の流れをくむ臨済宗を広め、臨済宗妙心寺派の法灯を伝えている。

二十四代井伊直政は徳川家康に仕え、井伊の赤鬼と恐れられる活躍をした。この直政を後見人として養育したのが、二十二代井伊直盛の一人娘井伊直虎である。龍潭寺二世南溪和尚の計らいで女城主として井伊家を支え、お家断絶の危機から救った。後に直政は徳川四天王の筆頭に出世、関ヶ原合戦の後、彦根に移る。

幕末井伊大老直弼が開国の偉業をなすとげる。龍潭寺はその千年余り、四十代の祖霊を祀る井伊氏の菩提寺として、彦根龍潭寺と共に、その歴史を今日に伝えている。

奥浜名湖  
ロードマップ



龍潭寺

〒431-2212  
静岡県  
浜松市北区引佐町井伊谷1989  
Tel. 053-542-0480(代)  
■拝観時間 9:00~16:30  
(17:00閉門)  
無料駐車場有り  
バス10台・乗用車80台  
<http://www.ryotanji.com>